

卵子凍結保存の同意書 (夫婦用)

私達は、私の(妻の)卵子を、私達夫婦の今後の不妊治療のために、貴院にて凍結保存することを希望します。尚、医師やスタッフからの説明と文書(『絹谷産婦人科 生殖補助医療説明書集』)によって、卵子の凍結・融解、治療について下記の事項を十分に理解し、納得しました。この同意書の〔裏面〕の『卵子凍結保存についての当院の規定』についても異議はなく、この規定を守ることを約束します。

また、以下の場合には、私の意思に関わらず、卵子が廃棄されることを了解します。

1. 妻が死亡した場合。
2. 私達夫婦から特別な申し出がなく、卵子の凍結期間が満了した場合。
3. 凍結保存期限までに意思表示が無く、私達夫婦の連絡先が不明となり、連絡が取れない場合。
4. 不可抗力による災害・事故等により、卵子が損傷・喪失した場合。

***裏面『卵子凍結保存についての当院の規定』とともに下記事項を1つずつ振り返り、質問や再確認したいことがなければ、左端の患者口欄に☑を入れ、下記に署名して下さい。**

(↓患者☑欄)

- 1) 未受精卵子の凍結保存・融解法、融解後の卵子を用いた治療はどのようなものか。
- 2) 卵胞発育・排卵誘発に用いる薬剤の使用及び採卵による副作用の可能性について。
- 3) 卵子が採取出来ない可能性、また、卵子の状態によっては凍結できない可能性もあること。
- 4) 卵子の凍結融解後の生存率について。
融解した未受精卵子の状態によっては治療に使用できず、卵子は廃棄処分となること。
- 5) 凍結融解卵子を使用した治療の妊娠率について。
- 6) 卵子の凍結保存期間と費用について。(料金一覧表参照)
- 7) 卵子の凍結保存期間は延長できるが、当院の定める最長保管期間があること。
- 8) 凍結保存期間の延長の手続き方法について。
- 9) 保存期間内に、自らが、期間を延長するか保存卵子を廃棄するかを当院に連絡すること。
- 10) 住所や電話番号を変更する場合は、必ず当院に連絡すること。
- 11) 融解する場合の手続きについて。

<注意事項>

- ① この同意書の提出がない場合は、凍結保存することはできません。
- ② この同意書は今回の卵子凍結保存用です。今回の治療後に、再び同じ治療を希望する場合、その都度同意書の提出が必要です。
- ③ 本人が死亡した場合、卵子は廃棄処分とします。
- ④ 卵子凍結の通常の作業中や、災害(天災、火災など)時に不可抗力によって生じ得る、損傷・喪失に関して 当院は責任を負いません。
- ⑤ この同意書の提出後でも、凍結施行前であればいつでも自由に同意を取り消すことができます。
- ⑥ 患者様の個人情報、個人情報保護法及び当院の規約で取扱います。治療経過に関する情報は、個人が特定されない形で解析したり、日本産科婦人科学会へ報告することがあります。

施設責任者 絹谷産婦人科 院長 絹谷 正之

説明日 _____年 _____月 _____日 説明者【 _____ 】

同意年月日： _____年 _____月 _____日

住所： _____

電話番号： _____

夫氏名(自署)： _____

妻氏名(自署)： _____

<選択事項>。(必ずどちらかに○をしてください。どちらを選択しても不利益が生じることはありません)
卵子保存期間の延長を希望しない場合、卵子を処分する前に、卵子を研究目的に使用することがあります。(胚移植目的に使用することはありません。)

研究目的の使用に、 同意します。 同意しません。

同意書控えお渡し者【 _____ / _____ 】

***提出していただいた後、患者様控えとしてコピーをお渡します。大切に保管してください。**

卵子凍結保存についての当院の規定（夫婦用）

<凍結の開始>

- 卵子の凍結保存期間は、凍結日から1年間です。この間の保存費用は6万円＋消費税<2個目～5,000円/個加算>です。
(例: H26年5月10日に凍結開始の場合、H27年5月9日までが保存期間です。
以降1年毎に30,000円<別途消費税>です。)
- 卵子の凍結保存費用は、凍結開始後2週間以内に支払していただきます。

<患者様から当院への連絡義務>

※当院から患者様に、凍結延長されるか廃棄処分されるかの連絡をする義務はありません。

- ①保存期間満了までに、凍結保存期間を延長するか、廃棄するかを、必ず当院に連絡しなければなりません。
*万が一、保存期間内に連絡がない場合、または、凍結保存費用の支払いが無い場合は、保存延長の意思がなく保存卵子の処分権を放棄したものとみなし、卵子は廃棄処分します。
- ②連絡先（住所や電話番号）を変更する場合は、変更後1か月以内に必ず当院に連絡してください。何の意思表示もなく、夫婦の連絡先が不明となり、連絡が取れない場合も保存卵子の処分権を放棄したものとみなし卵子は廃棄処分します。
- ③妻が死亡した場合は、夫が1か月以内に当院に連絡し、当院所定の書類に署名し、当院へ提出しなければなりません。この場合、または、当院が死亡の事実を確認した場合、当該凍結卵子は廃棄処分します。

<延長>

- ①凍結の延長を希望する場合は、保存期間満了までに当院に連絡し、当院の定める延長費用を支払わなければなりません。(1年毎に3万円＋消費税)
- ②卵子の凍結延長保存費用は、凍結延長開始日の1週間前までに、1年分を前払いしていただきます。
- ③凍結期間内であっても、生殖年齢（当院の場合は50歳）を超えた場合は、凍結期間の延長は受け付けません。
- ④卵子の凍結保存期間中に、当院で定める延長費用や保存期間に改定があった場合は、保存期間の延長手続き時から、改定された最新の延長費用と保存期間が適用されます。

<廃棄>

- 廃棄を希望する場合は、当院所定の書類に署名し、当院に提出しなければなりません。

<凍結卵子の融解を希望する場合>

- 凍結卵子の融解を希望する場合は、当院所定の書類に署名し、当院に提出しなければなりません。